キャラクター名: 帰月恭哉

プレイヤー名:

シンドローム	モルフェウス / バロール	ワークス	UGNエージェントC	カヴァー	大学生
オプショナル		年齢	20	性別	男
覚醒	償い	衝動	自傷	初期侵食率	37 %
出自	名家の生まれ	経験	喪失	邂逅	友人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	1	0	0			1
感覚	3	0	0			3
精神	2	1	2			5
社会	2	0	0			2

HP	27
行動値	11
(非装備時)	11
戦闘移動	16
全力移動	32

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ	1		交渉		
回避			知覚			意志	1	1	調達	1	
運転：			芸術：			知識：	2		情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
幸福は弱く、不幸は強い		0				6使用/侵蝕率+10/1シナリオに1回
歪の盾-Utiliser		0				2使用/侵蝕率+2/カバーリング
歪の盾-expansion		0				2+5使用/侵蝕率+5/カバーリング
歪の盾-Sortie maximale		0				2+3+5使用/侵蝕率+9/1シーンに1回

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
思い出の一品	
クリスタルシールド	
コネ[要人への貸し]	
コネ[手配師]	
ウェポンケース	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
起源種	P	N		
友人(■■ ■)	P 遺志	N 悔悟		
サオリ	P 好意	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6	残り財産P： 6

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
黄金錬成	2	-	常時	.-	-	-	-	
効果：	常備化Pt[Lv*10]							
砂の結界	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果：	カバーリング、行動済にはならない							
魔人の盾	3	4	オート	至近	自身	自動	-	
効果：	ガード中、ガード値を[Lv*10]/1シーンに1回							
孤独の魔眼	3	4	オート	視界	効果	自動	-	
効果：	自身を含む[対象:範囲][対象:範囲(選択)]を自分一人に変更/1シナリオにLv回							
グラビティガード	3	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果：	ガード中、ガード値を+[Lv]D個							
時の棺	1	10	オート	視界	単体	自動	100↑	
効果：	対象の判定を強制失敗させる/1シナリオに1回							
砂の祝福	1	4	オート	至近	自身	自動	-	
効果：	カバーリング+[Lv*10]m/シーン1回							
万能器具	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果：	よく自転車を作っては乗り回している							
ディメンジョンゲート	★	3	メジャー	至近		自動	-	
効果：	どこでもドア							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

おさらぎ きょうや
一人称･･･俺(自分/私)
二人称･･･お前、あんた(貴方)
三人称･･･あいつ、あいつら(皆)
基本的に呼び捨てだが、苗字か名前かはノリで決めている。流石に目上に対しての敬語は出来る。

江戸中期くらいから家があるらしい(本人談)、ボンボン。
高祖父が東武鉄道の創立に関わっている。
今でも一部の親族が色んなところの重役をしているそうで。
本人は次男坊かつ父親と反りが合わないので、将来は作家になりたいとぼんやり考えている。
最近の悩みは、好みの服を見つけてもサイズが無いこと。
物静かだが、兄貴肌。一度でも懐に入れたと認識した人を構いたがり、特に身内にはめちゃくちゃ甘い。ただし、興味の無いものにはとことん興味を持たない。
故に学業の成績は良いのと悪いの落差がコースター並にヤバい。ホントに興味が無い授業はサボったりテストを白紙で出したりする(良い子はやっちゃダメだよ)
料理をするのが好きで、なかなかの腕前。
幼少期から病弱で、入退院を繰り返していた。この虚弱体質はオーヴァードとして覚醒しても結局治らなかった。
今でも任務終了後は寝込んでいる。
幼い頃から拾い癖があり、捨て猫やら何やらをしょっちゅう拾ってきていたが、最近悪化している。
そのお陰で、野良レネビが3人ほど家にいる。

普段はイリーガルとしてUGNに協力しているが、報酬目的ではない。
クリスタルシールドは、お得意の物質操作で本の形にして持ち歩いている。
本来の用途として使用すると、本の頁から文字が浮かび上がり、それが盾となる。